

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：中小企業振興費

事業名 中小企業 I o T 活用促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業技術課 I T 利用促進室 I o T 導入支援係

電話番号：058-272-1111 (内 3056) E-mail：c11352@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,247 千円 (前年度予算額：3,191 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,191	556	0	0	0	0	563	0	2,072
要求額	2,247	113	0	0	0	0	563	0	1,571
決定額	2,247	113	0	0	0	0	563	0	1,571

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

本県は、県内総生産や従業員数の約4分の1を製造業が占め、全国と比較しても製造業の割合が高い「ものづくり県」である。中小製造業の多くが、海外の廉価品との価格競争や差別化、熟練技術者の高齢化、技術革新に即した高付加価値商品開発への対応などの課題に直面している。課題解決の有効な手段として、県内中小企業も I T 技術 (I o T) 活用の検討を始めているが、情報・人材・資金の不足等により導入は進んでいない。

こうした中小製造業の生産性向上や新商品・技術開発への対応が喫緊の課題となっている。

(2) 事業内容

本県の I o T 導入支援施策の中核となる「岐阜県 I T ものづくり推進ラボ」(「地方版 I o T 推進ラボ」平成28年7月31日選定)の体制を通じ、各構成員(県内支援機関、業界団体)が連携しながら県内中小企業(製造業等)へ適切な支援を継続的に展開することにより、製造現場への I T 技術 (I o T) 活用・導入の促進を図る。

○ラボ運営事業

・構成員連絡会議

- I o T 専門家による相談会
 - ・ 専門家による企業の I o T 導入に関する相談事業
- 岐阜県中小企業等スマートワーク促進補助金評価会議
 - ・ 評価委員会の設置及び I T 投資計画等の評価
- I o T 関連機器の運用
 - ・ デジタル機器等開放機器の運用

(3) 県負担・補助率の考え方

事業費は県費で対応する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	500	相談会講師、評価会議委員謝金
旅費	222	講師費用弁償、職員旅費
消耗品費	5	印刷用紙等
修繕料	500	デジタル機器修繕費
会議費	1	会議用飲料
役務費	1	切手代
業務委託料	994	機器保守料
使用料及び賃借料	24	会場借り上げ
合計	2,247	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国の状況

政府は多くの経済政策のなかで I o T 活用による産業力強化策を閣議決定。

- ・ 2021 年度版「ものづくり白書」
- ・ まち・ひと・しごと創生基本方針 2021
- ・ 新産業構造ビジョン
- ・ 成長戦略実行計画 など

(2) 事業主体及びその妥当性

県が事務局となり、県内支援機関及び業界団体と連携し、中小ものづくり企業等の I o T 導入・活用を支援する取組みであり、事業主体として妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

- | | |
|-------------------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> | 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 継続要求事業 |

記入しない項目欄は斜線を引いてください。

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①	/	/	/	/	/	%
②	/	/	/	/	/	%

○指標を設定することができない場合の理由

- ・昨年度までは「セミナー参加者」を指標に設定
- ・セミナー開催予算を削減、そのため残予算は機器保守や生計費となったため

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価)	
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	